

西脇市消費生活センター

☎22-3111 (防災安全課内)

No.194

水回り修理・解錠・害虫駆除でトラブル急増

トイレの水漏れや排水管の詰まり、鍵の修理・交換、害獣・害虫駆除など、日常生活の困り事に対応するサービス業者から高額な作業料を請求されるトラブルが増加しています。

◆相談事例 1

自宅のトイレが詰まり、「トイレ修理 390円～」という広告を見て修理を依頼。修理後に55万円請求された。

◆相談事例 2

インターネットで「ハチの駆除 9,800円～」という広告を見て見積りを依頼。11万円が提示され、承諾してしまった。

◆アドバイス

インターネットやチラシの広告料金表示は、うのみにしないようにしましょう。契約を急かされたり、次々と高額な作業を提案されたりする場合は断りましょう。また、料金に納得できない場合は、その場で支払ってはいけません。後で返金を求めるのは困難です。水回りの修理は、市が指定する事業者・工事店(QRコード)に依頼しましょう。

困ったときは、西脇市消費生活センターへご相談ください。



めぐりコラム 32

西脇市では黒田庄和牛や山田錦、イチゴなど全国に誇れる地域食材が生産されており、さまざまな農業振興施策を推進しています。このコラムでは、本市の農業に関する旬な情報をお伝えします。

■問合せ 農林振興課(市役所内線 2031)



料理に合わせた黒田庄和牛の返礼品を準備

ふるさと納税で、ぜひ「黒田庄和牛」を

西脇市の特産品・黒田庄和牛の子牛は、淡路島や但馬地方で生まれ育ち、生後8～10か月くらいで黒田庄町にやってきました。現在は市内の農家が約1,300頭を肥育。牛は市内の稲作農家が作った酒米の王様・山田錦の良質な稲わらを食べ、約2年半、豊かな自然と澄んだ空気に恵まれた黒田庄町で、農家の愛情をたっぷり受けながら大切に育てられます。

出荷された黒田庄和牛の約9割が、和牛のトップブランド「神戸ビーフ」に認定。えりすぐられた肉だけが「神戸ビーフ」を名乗ることができ、脂肪のサシ具合や肉質の色合いなどで5段階に厳しく格付けされます。

黒田庄和牛は、西脇市のふるさと納税でも取り扱っており、毎年、人気の返礼品になっています。市外に住むご家族やご友人がふるさと納税でお悩みのときは、ぜひ、西脇市の黒田庄和牛をお勧めしてください。また、皆さんの大切な人への贈り物や年末年始の会食にも、黒田庄和牛を選んでみませんか。



県大会で勢いよくスタートを切る西脇工高女子チーム(写真中央)

若いちカラがまちを元気に 国道175号線西脇北バイパスなどの道路関連、河川整備などの災害防止対策を含む国への要望活動のため、例年11月は毎週のように上京します。今年もたくさんさんの国会議員の方や財務省、国土交通省など中央省庁の方々とお会いしました。要望内容をお伝えする前に、「西脇工業高校出身」の田中希実さん(東京オリンピック陸上女子1500m日本人初受賞)や、翁田大勢投手(読売ジャイアンツドラフト1位指名)の話をする



西脇市長 片山象三

市長からの手紙 95

西脇を元気に!!

95

ると、「すごいですね」と大きな反応が返ってきます。

11月に開かれた兵庫県高校駅伝競走大会で、西脇工業高校陸上競技部は男子が同大会の記録を更新しての優勝。女子は見事2位に輝きました。さらに、男子の記録は今回の全国大会に出場する学校の中でもトップ。優秀な成績で全国大会出場の切符を手にしました。高校駅伝の強豪校として伝統のある西脇工業高校の全国ファンは待ちきれないようで、県大会が終わっていないうちから、広報にしわき駅伝特集号発行の問い合わせがあります。2年ぶりの都大路でのレース。選手の皆さんには、悔いのないレース展開ができることを願っています。全国や世界レベルで活躍する若い皆さんの力が、地域や遠く故郷を思う人たちの活力となります。「元氣なまち西脇市」をともに創ってまいります。

好きです!! にしわきわたしのふるさと

心紡いで 彩り豊かな人財の育成

～誰もがふるさとに誇りと愛着を持ち、輝いて生きる 共生社会の実現に向けて～

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

生涯スポーツ「卓球」を始めよう

人生100年時代——健康で生活するために
市教育委員会は令和2年度に「西脇市スポーツ推進計画」を策定しました。計画は市のスポーツ推進を計画的に進めるもので、その中で「卓球」を通じた生涯スポーツの振興を明記しています。卓球は年齢を問わず、誰もが気軽に親しめるスポーツ。市では、卓球を楽しむ催しを多数実施しています。

卓球練習場の無料開放

卓球台やピン球、ラケットは貸し出しがあります。運動不足の方や、普段運動する機会がない方も気軽に利用可。「卓球」で楽しく体を動かして、「健康」になりましょう。

◆とき 毎週金曜日/午後1時30分～4時30分(施設の貸し出しで利用できない日があります。詳しくは下記へ)

◆ところ 総合市民センター体育館 屋内用シューズ

◆持ち物

◆西村卓二杯卓球選手権大会・卓球教室

西脇市出身で、アテネオリンピック女子卓球日本代表監督を務めた西村卓二さんをベスト16に導いた西村卓二さん(東京富士大学教授)の名を冠した、

西脇市出身で、アテネオリンピック女子卓球日本代表監督を務めた西村卓二さんをベスト16に導いた西村卓二さん(東京富士大学教授)の名を冠した、

卓球大会と卓球教室を開催します。対象は小中学校の卓球部員に限定しますが、観覧席から、誰でもレベルの高い技術と指導が見学できます。

◆とき 12月11日(土)～12日(日)

◆ところ 総合市民センター体育館

◆西脇市卓球フェスタ

「健康卓球」をテーマに、卓球を通じた健康寿命の延伸に関するトークショーと体験イベントを開催します。希望者は現役トップ選手とラリー体験ができます。

◆とき 令和4年2月(詳しくは決まり次第お知らせします)

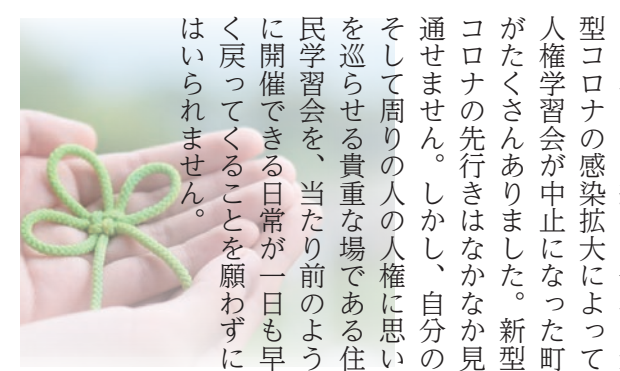
◆問合せ 生涯学習課スポーツ振興室(総合市民センター内/☎22-5996)

心のスケッチ 152

人権週間にあたって

人権教育課コラム

皆さんは「シトラスリボン運動」をご存じですか。これはコロナ禍で生まれた差別や偏見を耳にした、愛媛県に住む有志がつくったプロジェクトのことです。プロジェクトでは、誰もが新型コロナウイルスに感染するリスクがある中、たとえ感染しても地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝え、感染された方や医療従事者がそれぞれの暮らしの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、そして、思いやりのある暮らしやすい社会を目指しています。愛媛の特産・かんきつにちなんだシトラス色のリボンやロゴを身に付け、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動として全国各地で展開。リボンの3つの輪は、「地域」「家庭」「職場(学校)」を表しています。さて、11月に高田井町で人権の住民学習会が行われました。新型コロナウイルスによる差別・偏見をテーマにした啓発映画を視聴した後、グループに分かれて参加者全員でシトラス



リボンを作りました。会場に用意されたクラフトテープや水引、組みひもなどの材料から、それぞれが好きなものを選んで制作をスタート。制作手順の解説動画を見てから、同じグループの人と「ああでもない、こうでもない」と言いながら、指先に神経を集中させて作る楽しい時間となりました。最後には形を整え、ストラップを付けて完成。中には、2つ3つと作る方もいて、家族へのすてきな土産になりました。

昨年引き続き、今年も新型コロナウイルスの感染拡大によって人権学習会が中止になった町がたくさんありました。新型コロナウイルスの先行きはなかなか見通せません。しかし、自分のそして周りの人の人権に思いを巡らせる貴重な場である住民学習会を、当たり前のよう